

令和2年1月21日

炉工学クラスター 中性子源サブクラスター

室賀 健夫(核融合研)

春日井 敦(量 研)

中性子源サブクラスター会合（令和元年度第1回）のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただきありがとうございます。  
ございます。

炉工学クラスター中性子源サブクラスターでは、日欧協力で実施している幅広いアプローチ活動の国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動（IFMIF/EVEDA）事業、及び核融合炉材料、ブランケット、ダイバータの開発において重要な施設として位置付けられている核融合中性子源の設計・開発について、全日本的な取り組みとして情報の周知と共有をはかるとともに国内専門家による幅広い意見の交換を行ってまいりました。

IFMIF/EVEDA 事業では、これまで多くの大学や研究機関との連携協力により、中間工学設計書を完成させるとともに、実機規模のリチウム試験ループの実証試験であるリチウムターゲット施設の工学実証試験を完了し、照射試験施設に関する工学実証試験を実施してまいりました。また加速器開発においても、原型加速器の5MeVでの加速を行う高周波加速器による重陽子ビーム試験運転が開始され、日欧のより密接な連携協力で大きく進歩しています。

一方、文部科学省核融合科学技術委員会より承認された原型炉開発のためのアクションプラン及び原型炉研究開発ロードマップでは、原型炉移行判断に係る材料等の中性子照射データを2035年までに取得することを目的とした核融合中性子源（A-FNS）建設について、BA フェーズ II による国際協力を活用しながら2025年までに工学設計を完了させることになっており、2030年からの中性子照射試験に向けた計画を進めて行くことが求められております。

今回の会合では、IFMIF/EVEDA 事業で進めている IFMIF 原型加速器開発の活動状況報告ならびに核融合中性子源 A-FNS の概念検討進捗状況を報告するとともに、BA フェーズ II の活動計画、今後の設計活動の進め方や大学等との共同研究のあり方等に関して、幅広い議論と意見交換を行います。

以下に、開催要領を記します。皆様方のご参加を宜しくお願い致します。

## 記

開催日時：令和2年2月20日（木）13：30～17：00

開催場所：量子科学技術研究開発機構 東京事務所第一会議室  
（東京都千代田区内幸町2丁目2番2号 富国生命ビル22階）

予定議題：

- 1) はじめに（会合の趣旨説明、前回議事録確認）
- 2) 2019年度のLIPAcの活動状況（GST）
- 3) A-FNSの概念設計進捗状況（GST）
- 4) フェーズ2の活動計画（GST）
- 5) 総合討論（議論：中性子源サブクラスターの進め方、大学等との共同研究のあり方について、他）

○申込先・連絡先：（会合幹事宛）

落合 謙太郎（量研、0175-71-6621、[ochiai.kentaro@gst.go.jp](mailto:ochiai.kentaro@gst.go.jp)）

○参加申込締切：

令和2年2月4日（火曜日）

- ・核融合エネルギーフォーラム会員のみが参加可能です。事前登録（申込）を必ずお願いします。
- ・本会合の議事内容、録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。
- ・本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。但し、時間の制約などでご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。
- ・コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。

※申し込み・問い合わせとも、核融合エネルギーフォーラム事務局ではありません。ご注意ください！

---

参加申込書

中性子源サブクラスター会合  
(令和元年度第1回)

氏 名：  
会員 番号：  
所属・職位：  
連 絡 先：  
電子メール：  
コメント欄：

---

会合への参加はフォーラム会員に限らせて戴きます。入会ご希望の方は、<http://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>にアクセスし、サイドメニュー「入会のご案内」をご覧ください。  
入会に当たり会費及び入会費は不要です。

以上

---

核融合エネルギーフォーラム事務局

E-mail: [fusion-energy-forum@gst.go.jp](mailto:fusion-energy-forum@gst.go.jp)

FAX: 029-270-7468

---